

## ハマガニについて

- ① 昨年10月18日、奥田・山王川の下流に近い河畔道路の草むらで見つけました。
- ② 私は知多半島南部で、50種ほどのカニを見ていますが、初めて見るカニです。「ハマガニ」であることは、専門家に確認しました。
- ③ このあたりのカニにいて関心を持っている方々に、写真を送って、目撃・採集等の経験について、お尋ねをしました。前南知多ビーチランド所長黒柳賢治さんが25年前、平成3年（1991年）9月11日に出合われたと教えて下さいました。場所は同じ山王川水系で、今は無くなってしまった山王川調整池の近くにいたことを記録に残してみえました。同じころ、当時ビーチランドにお勤めの方が、その近辺で見た記憶があるといわれました。その後、一切目撃、また一般の方がビーチランドに持ち込んだこと見ないそうです。**25年ぶりの出合ではないかと思えます。**私は当地ではハマガニは絶滅したのではないかと思っていました。夜行性の強いカニなので、捕獲を免れて生き残ったのでしょうか。
- ④ カニの研究者・天野勲さんは、かなり以前、師崎羽豆岬にまだヨシ原がありそこで、また豊浜・小佐にあったヨシ原で見つけられたそうです。
- ⑤ 今でも藤前干潟のヨシ原には少数生息しています。
- ⑥ ハマガニは、河口の土手やヨシ原や湿地帯に深い穴を掘って住みます。河口域のヨシ原・草地の減少にともなって、全国的にもその数を減らしているといわれます。
- ⑦ ハマガニは甲羅の幅が5cmほどになる大型種です。今回私が見つけたのは甲羅の幅が6cmもある大型の個体でした。はさみ脚も歩脚も欠損のない完全個体の雄でした。
- ⑧ 体は非常にがっちりしており、捕まえても脚を切り離して逃げる自切はしませんでした。
- ⑨ はさみ脚は非常に大きく、捕まえようとするとイシガニの様に左右のはさみ脚を広げて、戦闘的なポーズをとります。しかし、動作はやや緩慢で比較的捕獲は容易でした。
- ⑩ ハマガニは、ヨシの若芽や根、柔らかい野草などを食べ、主として植物食です。大きなはさみ脚やがっちりした体は、攻撃のためではなく、身を守るためのものであると思われます。
- ⑪ もしハマガニを見つけられましたなら、観察だけにとどめ、捕獲採集しないで下さい。そして、目撃したことを学校を通して私に知らせて下さい。